

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2016年9月1日
第16号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長
清水 隆平

シャワーのような蝉の鳴き声は、ハーモニーのような音の連なりに変化し乾いた涼しい風と共に過ごしやすい季節となりました。

皆様からいただく畿央大学後援会への多くのエールにとっても感謝しています。有り難うございます。

皆様は京都、蹴上を訪れたことが有るでしょうか？京都盆地の東側に位置する蹴上は古くから都の入り口として交通の要所となりその北側には南禅寺が見えます。この地には明治の半ばに造られた琵琶湖疎水に伴う多くの近代化遺産が残っています。疎水は大津で取水した水を京都市内に導く人工の運河ですが、その目的は灌漑用、また大阪、京都、滋賀の三都市を船便で繋ぎ、日本発の営業水力発電にも使われました。近代化に繋がる一大プロジェクトを成し遂げたのが、卒業論文のテーマを疎水の建設計画とした一人の若者です。彼の名は田辺朔郎、驚く事にその大事業の設計・監督の任を知事から受けたのは23歳の時です。^(*)

さて、奈良県の政策提案コンテストへの参加について人間環境デザイン学科の先生からお話を伺う機会が有りました。研究室で知恵を出し合い、県が抱える福祉の充実、少子化対策・女性の活躍等の課題を解決するため、多様な世代間の自立型コミュニティの立ち上げ、充実のためのモデルを知事に説明するというものです。研究室では実際に運営しているコミュニティカフェでのデータを積み重ね地域に根ざした形に変化させることにより、外出する機会の無かった人達を、一歩外にできる気持ちになれるような工夫を行いその成果を出しています。本大学では、実学教育を重視し、地域貢献、企業・行政との連携事業を数多く実施されているとお聞きしています。

学内での研究を学外で実践する試みは、琵琶湖疎水プロジェクトのように大学で学んだ研究成果を社会が抱える課題解決に対して貢献することとなり、非常に重要でかつ有意義なものと考えます。後援会では学生が持つ将来の夢の実現のため、また世界を豊かにするパイオニアとなるような様々なサポート、バックアップを行いたいと考えます。

(*) 増田彰久、清水慶一：日本近代化遺産の旅 朝日新聞社、2002.)

学びの 雰囲気醸成

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学長
冬木 正彦



後援会の皆様には、畿央大学の教育活動に対し日頃から温かいご理解とご協力をいただき有難うございます。

最近、地域の人たちや他大学の関係者から畿央大学の学生の評判を聞く機会が多くなりました。畿央大学の学生さんは真面目でよく勉強している、卒業生も頑張っているということです。このような際には、次のような説明をしています。

畿央大学のキャンパスには勉強する雰囲気があり、学生は楽しくかつ切磋琢磨しながら勉強しています。夜遅くまでグループで残って勉強している風景は日常の姿です。

大学では、本来勉強することが当たり前ですが、それが先生や職員の方々が学生一人ひとりに真剣に向きあい、専門分野の指導を行い、進路についても一緒に考えるということで、畿央大学には素晴らしい学びの場が実現できているのです。学生と教職員の距離が近く、キャンパスが綺麗で、皆自然と挨拶をするような一体感があるというのが畿央大学の特色ですと説明すると、皆さん納得されます。

このような学びの場は一朝一夕でできるものではありません。教職員と学生のいままでの努力によって畿央大学にはこの雰囲気が醸成されていることは、大変有難く誇りでもあります。

学びの場は大学のキャンパスから外にも広がっています。各学科がそれぞれの専門性を生かした地域連携に取り組みされた結果、取り組み数は奈良県内の大学の中では群を抜いて多く、連携先での学びの姿勢は良い評価を得ています。学びの場はさらに海外にも広がりつつあります。短期語学留学は学びの内容を見直すなどの工夫により参加者が増え、今年度からは学科単位での海外インターンシップも始まります。海外における学びの場においても学内と同様の雰囲気をたもち、交流先の学生や関係者の間に良い影響を及ぼすことを期待しています。

このような学びの場の実現には、後援会からも大きなご支援をいただいています。教育活動を始め各分野に対していただいている助成は学生の学びへの動機を高めるのに、そして学内緑化事業は綺麗なキャンパス維持にとって不可欠のものです。後援会の皆様にお礼を申し上げるとともに引き続きご支援をお願いいたします。

CONTENTS	ごあいさつ..... P 1・2	健康科学部 看護医療学科..... P 7
	保護者懇談会・後援会総会..... P 2・3	健康栄養学科..... P 8
	基調講演(要旨)	人間環境デザイン学科..... P 9
	「実りある将来を実現するため「大学」と「家庭」で共に考えたいこと」	教育学部 現代教育学科..... P10
	教育学部現代教育学科准教授 大久保 賢一..... P 4・5	担任からのメッセージ..... P11~14
	学科のページ	アンケートへのご協力ありがとうございました..... P15
	健康科学部 理学療法学科..... P 6	第14回畿央祭・授業日カレンダー..... P16



信頼、そして性善説

健康科学部長
健康科学研究科長

金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援をいただいていることに深く御礼申し上げます。

大学はもとより、社会生活において最も重要なことと私がいつも感じておりますことは互いの信頼関係です。とりわけ教育の場においては学生との間に確固たる信頼関係を築くことが必要です。学生が教員を信頼し、また教員も個々の学生を信頼し、裏切らない——この関係が出来上がって初めて充実した教育が出来るのだと考えております。信頼されている先生の授業では私語をする学生も少ないし、学生はしかられてもその先生の叱責には反抗することなく素直に受け入れるのだと思います。教員も学生も自立、自律した人格を持ち、大人同士として接することによってこの信頼関係が醸成されます。おそらく家族の間でも同じでしょう。18歳で選挙権が与えられたということは世の中の人たちが彼らを大人とみなし、その意見を尊重しようという考えなのです。親から見れば何歳になっても子どもですが、大学生になった彼らをひとりの人格として信頼することが必要だと思います。さらに他人を善良だと信じることは世の中の間人関係を円滑にすることです。そしてその信頼を裏切らないことが重要です。多くの人たちが性善説に則って行動していても、その中の一人がそれを裏切ると社会全体が懐疑的になり、厳しい規則が設けられて行動の自由が制限されてしまうのです。互いに信頼しあい、性善説に立って世の中の自由を維持したいものです。

むすんでひらいて

教育学部長
教育学研究科長

前平 泰志



むすんでひらいて
手を打ってむすんで
またひらいて手を打って
その手を上に(下に)(前に)(横に)

「むすんで ひらいて」という童謡は、幼児教育の世界のみならず、日本人には、なじみの深い曲です。あまり知られていないかもしれませんが、有名な教育論『エミール』を表したジャン＝ジャック・ルソーその人が、この原曲のルーツだといわれています。

親しみやすい単調なメロディーのなかにも、手の動作がそこに組み合わせられて多様なバリエーションが可能になり、無限の想像力の世界が広がっていくのでしょうか。

この歌の作詞にもう少し勝手な想像力をふくらませてみると、まさに教育のあり方と重ねあわせてみるような気がします。

現在は、人と人との結びつきが強く求められている時代であり、また単に求心力のみを意味する結びつきではなく、結ばれた力をいったん解き放して、他の世界や他の人たちへと開いていくことを、求められる時代です。

「徳をのぼす、知をみがく、美をつくる」という本学の建学の精神に鍛えられることによって、学生が、教員が、職員が、「結んでは開き、開いては結んでいく」その無限の連鎖のパフォーマンスのなかにも実現されるもの、それが教育ではないでしょうか。

今後とも、後援会の方々の変わらないご支援とご協力をお願いいたします。

第11回 保護者懇談会を 開催しました。

7月2日(土)午後1時より保護者懇談会が開催されました。今年で11回目を迎え



た保護者懇談会は、暑いなか各地から約330名の保護者にご参加いただきました。

全体会に先立って行なわれた個別相談会では、保護者の皆様から成績や進路に関すること、学校での様子など、さまざまなご相談をいただきました。

冬木記念ホールで行なわれた全体会では冒頭に冬木学長、清水後援会会長よりご挨拶があり、引き続いて、教育学部現代教育



学科の大久保賢一准教授による基調講演『実りある将来を実現するため「大学」と「家庭」で共に考えたいこと』をお話し頂きました(講演要旨は4、5頁をご参照ください)。参加者からは、「伝えたいことが明確で具体的な内容があり分かりやすかつ



た「自立とは？今までの自分の考えていた事と全く違っていました」「子供への見方、対応を改めようと思った部分がありました」「ややもすると先入観や固定観念にとらわれがちになってしまうことが多いが、見



方を変えて”一つのものごと、一人の人を見ることの大切さに改めて考えさせられた。」「職に就く」ことが目標となっていた自分自身にはっとしました。早い時期に気付かせていただき、ありがとうございました。」など、たくさん感想をいただきました。

全体会及び後援会総会の後は学科別に分かれ、学科説明会を開催しました。各学科の教員から学修内容や普段の学生生活についての説明を行ない、「知りたいと思っていた事が全て分かりよかったです。」「講義内容やゼミでの活動内容が良く分かりました」「学生の具体的な姿をプラス面でもマイナス面でもお話しして頂き、しんどうい思いをしながら頑張っているんだとうれしく感じられ良かった。」などの感想を頂きました。学科別説明会のあと

は、それぞれの学科が使用する実習室・実験室などをご覧頂きながら懇親会が開かれる新食堂に移動して頂きました。

最後に新食堂で懇親会を開催し、保護者の皆様同士や保護者と教職員との交流を深めました。この時間にも大学生生活のことなど、色々な情報交換が行われておりました。

保護者の皆様から頂いたご意見を参考に、来年度の保護者懇談会を企画してまいります。また秋の畿央祭では、保護者向けの一般企業就職や教員採用試験の状況の説明会も予定しています。

これからも、多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。



平成28年度 後援会総会を開催



保護者懇談会の全体会において、畿央大学後援会の総会を開催しました。

はじめに役員会を代表して清水会長からご挨拶をいただきました。

その後、6月25日に開催された役員会にて検討された議案について審議に入りました。まず、平成27年度の事業報告、監査報告が審議され、承認されました。つづいて、平成28年度事業計画、予算案が審議されました。

事務局より、今年度の事業計画・予算の主な内容として、後援会の事業として進めておりますキャンパスの植栽維持管理については、引き続き維持管理と植栽の補充な

どをすすめること、定員増に伴って、健康診断、抗体検査等への補助、また海外での学修を希望する学生の支援を行うため、畿央祭参加の増加に対応するため予算を増額することなどの今年度の特徴が説明されました。エントランス付近の黒ずんだレンガの清掃にも後援会の事業として取り組むことのご承認もいただきました。また、その他の項目につきましても、予算案が提案され、審議の上、事業計画・予算案は承認されました。

役員会の改選では、役員会で推薦された清水会長をはじめとする17名の役員と3名の顧問が承認されました。本年度の後援会役員は別表のとおりです。会員の皆様のご協力を得ながら活動を進めていきたいと思っ

ております。

※保護者アンケートでは役員を選出についてもご質問をいただいております。後援会役員に興味・ご関心のおありの方は畿央大学学生支援センターまで遠慮なくお問い合わせください。



●平成28年度 畿央大学後援会役員

役職	役員氏名	新・再	学生の所属等
会長	清水 隆平	再任	人間環境デザイン学科 4 回生
副会長	南 正美	再任	理学療法学科 4 回生
副会長	竹中 秀司	再任	現代教育学科 3 回生
会計	前垣 昇司	再任	人間環境デザイン学科 3 回生
会計	小松 美佐	再任	学生支援センター職員
書記	前阪 俊二	再任	看護医療学科 4 回生
書記	中西 弘典	再任	学生支援センター職員
委員	遠藤 孝晃	再任	現代教育学科 3 回生
委員	西 秀人	再任	現代教育学科 3 回生
委員	荒木 聡子	再任	現代教育学科 2 回生
委員	濱中 誠	再任	現代教育学科 2 回生
委員	森本 浩夫	新任	現代教育学科 3 回生
委員	高下 一志	新任	理学療法学科 1 回生
委員	杉山 多加	新任	人間環境デザイン学科 1 回生
委員	福本 ゆみ	新任	現代教育学科 1 回生
監事	田中 茂男	再任	現代教育学科 4 回生
監事	松本 吉央	再任	現代教育学科 3 回生
顧問	冬木 正彦	再任	畿央大学 学長
顧問	金子 章道	再任	健康科学部 学部長
顧問	前平 泰志	再任	教育学部 学部長

畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって子どもたちの学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また、会員相互の連携をすすめるとともに大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

『実りある将来を実現するため 「大学」と「家庭」で共に考えたいこと』



— 学生たちを縛る3つの「常識」に対する再検討 —

教育学部現代教育学科 准教授 大久保 賢一

「元気で明るい人になろう」… にとらわれない。

1回生の宿泊研修の中で「夢をチカラに」という作文を全員に書いてもらい、担任が読んでコメントを書くという機会があります。共通して書かれているフレーズがあることに気づきました。「自分は性格が暗いので、教師になるために、少しでも明るくなりたい」とか、「自分は引っ込み事案なので、克服したい」とか。こういうことを気にしているのだなと思いました。今日私がお話したいことは、性格や特性には必ず両面があるということです。私はいつも「自分は暗いんです」と言う学生には、「そのどこがあかんの?」と言うのです。「自分は引っ込み思案で、おとなしい性格で」という学生にも、「そのどこがあかんの?」と伝えるようにしています。

小学生の息子とよく魚釣りに行くのですが、息子は好奇心が強いというか、落ち着きがないのです。すぐに、「父ちゃん、ここに魚がいる」とうろちょろするのです。自分の集中するところが散ってしまうので、道具は散らかし放題、そういうタイプです。でも、この特性は彼の長所でもあるのです。その証拠に彼は釣りに行くとき、周りの大人よりもたくさん魚を釣るのです。あちこち魚を見つけてきて、そこに仕掛けを投入します。ただし手元はだらしない。

たくさん新しいものを発見するという彼の性質と、手元がおろそかになってしまうということは同じ特性から来ているのです。彼の落ち着きのなさをそれごと失くしてしまえば、彼の長所もなくなってしまうのです。

「優柔不断」。ネガティブな響きを持った言葉ですが、言い換えれば、すごく思慮深い、よく考えてから行動するということがかもしれません。うちの息子みたいに「落ち

着きがない」というのは、見方を変えれば、非常に積極的かもしれない。「頑固」も、とらえ方を変えれば、粘り強いということかもしれません。「意志が弱い」ということは柔軟性が高いとしてとらえることができるかもしれません。

いろんな問題を示す子どもたちに、その周りの先生、親御さんたちはそれを欠点とみなして修正しようとするのですが、欠点は本人の長所になりうるかもしれないということなのです。

作文を書くときに、自分の否定から始める学生さんに対して、それはする必要がないと言いたいです。自分の個性を否定することから始めるのではなく、その特性がどういう強みを持っているのか、自分の特性を客観的に見たうえで、自分にはこれが足りていないのだということを評価すればいいのです。自分は暗いからダメだ、消極的だからダメだという風に思い込む必要はないわけです。ですから私たちはまず、学生たちのいい所に注目をする。あなたにはこういう所があるじゃない、という周りの視線は必要と思っています。一見ネガティブに思えるようなものも見方を変えればそれは強みかもしれないということです。

学校の先生になりたい学生は、内気や繊細であることをよくネガティブに評価するのですが、これは非常に長所だと思うのです。なぜなら、すごく繊細な子どもたち、傷つきやすい子どもたちもいるわけです。そういった子どもたちに対して敏感に接することができるのは、教育者として長所になりえると思うのです。教壇に立った時に子どもたちに対して見方を変えることができるかどうかはすごく大事なことです。この子はすごく落ち着きがないとなった時に、それってよく考えればこうなっていることをちゃんと子どもたちに伝えることができる先生になれるかどうか。これを非常に期待しているのです。こういうことを人に対してできるようになるためには、まず自分自身の特性に対して客観的にポジティブな評価ができるかなのではと思っています。

「就職活動を成功させる」… ことだけを目標にしない。

二つ目は、就職することだけをゴールに



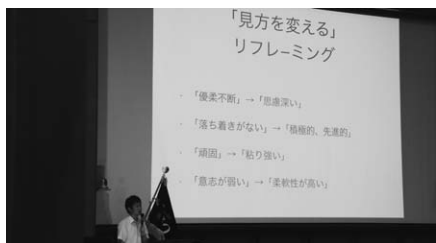
するのはやめようということです。先ほどの作文ですが、就職できるように頑張りた。あるいは一発で採用試験を突破できるように頑張っていきたい。そういう風に思うのは自然かもしれませんが、しかしながら、教師になった後、就職した後のことにまで具体的にイメージしている学生は少ないように思うのです。

採用試験に向けての面接の練習に付き合う中で、みんな面接の練習はがんばってやっている。勉強、準備はできているように思うのですが、先生になった後、就職した後、どういふ風にその職業、専門家として、プロフェッショナルとしてやっていくのかというビジョンまでは思い描けていない学生が多いように思います。突っ込んだ質問に沈黙してしまう学生が多いのです。本当に自分が教壇に立った時にどういふ風に子ども達と向き合うかっていうところまでは日々具体的イメージしていないからです。

就職はますます厳しくなってくるという状況なのですが、職に就いた後の方がはるかに長くて、大変ということがあるわけです。私はその職業において、プロフェッショナルとしてやっていく素養を学生達には身につけていってほしい、継続的に持続的に活躍していってもらえるようにしっかりと送り出していきたいと思っています。

就職の手前も大事な話という話をしたいと思います。

次のスライドをみてください。イルカショーの場面で、イルカが輪っかをジャンプしてくぐった瞬間です。こういう芸ができるということは、イルカへの教え方があるのです。考えて頂きたいことは、これをどうやって教えているかです。最初に輪っかを水の中に沈めるのではないですか、って言われますが、輪の位置は最初から変わりません。最初イルカはよくわからずにプールの中を自由に泳ぎ回りますが、最初



はイルカが輪の下に行っただけでほめてあげるのです。そうするとイルカは、その関係性を次第に学んできて、この下に来ると、魚をもらえてほめてもらえるのだと学習するのです。そうするとイルカはおなかが減ったら、輪の下に集まってくるようになる。それが安定してきたら、今度はイルカが輪の下に来るだけではほめないようにするのです。そうするとイルカはあれ？さっきまでほめてくれていたのにというんな行動を試すようになります。ぐるぐる回ったり、沈んだり浮いたり、跳ねたりするそうです。そこで、跳ねたところですかさずほめるのです。するとイルカはそのことを学習して、おなかが減ったら、輪の下に集まってきた跳ねるようになってくる。また安定してきたら今度は跳ねるだけではほめない。今度は高く跳んだ時だけほめるそうです。やったことのない行動に対してチャレンジしてもらう時の大切な考え方と方法論なのです。

これは私が専門にしている特別支援教育においても応用されている考え方です。小学校で、ある男の子が45分間授業で座ってられない。そういう時に先生は45分間座れたらほめようという目標設定をしてしまいがちです。うまくいかないんですよ。45分間座ってられないから。そういう場合には、その子が座ってられる5分でも10分でも構わない。その時点でまずは認める、ほめるということが大事なのです。今日はよく頑張ったと。普段10回ぐらいトラブルを起こしている子どもが5回ぐらいしか起こさなかったら、よく半分で我慢できたな、っていう所から始めるのです。

大学生の話に戻します。就職に向けてあるいは自分の夢に向けて、いろいろと目指すものがあると思うのですが、このチャレンジを促す時に最終ゴールだけを掲げ続けることはなかなかうまくいきません。もっと手前の具体的な事について目標設定をして、一つ一つ目標をクリアしていくということが、大事になってくるのです。

次はハトのシーンを見てください。お姉さんの向うに白いハトが見えます。台があって、一番上にベルが設けられています。このお姉さんはハトに、一段二段と昇ってもらって、ベルを鳴らしてもらいたいのです。まずやっていることは足が台に触れるだけでほめるのです。最初から最終ゴールは難しいのです。ハトはそれを学習して、チョンと触って、餌を食べに来ます。これ

が安定してきたら、今度は次の目標をとという考え方です。お姉さんは基準を上げ、今度は足を触れるだけではほめないようにしたのです。賢いでしょう。違うと思ったら、ベルに触りましたね。ハトでさえ学習する。スモールステップで目標を刻むということは効果的だということです。人間ではスモールステップで一つ一つクリアしていく、それがちゃんと評価される、認められるということはハトよりも効果が大きいと考えています。

彼らの就職活動をどう支えるかということですが、まずは職に就いた後のことを具体的にイメージしてもらうということを私は大事だと思っています。ですから、ぜひ、みなさんもお子さんに対して「そんなんで就職できると思ってるの？」と言うのにレパートリーを加えてもらえるとしたら、「本当にそんなんで、いい先生になれると思ってるの？」と少し言い換えてもらうのもいいと思います。あとは、さっきのハトやイルカのように目の前にあることをしっかりとこなしていく、ということが大事なのです。私が今日お伝えしたいことは、あまり就職、就職と言うのではなく、その就職の先、さらにその先をちゃんと見ておく。そしてその手前にあることを具体的にこなしていく、ちゃんとやっていくということが就職活動にもよい影響を及ぼしていくということです。特に目の前にあることを一つずつ小さいステップでもお子さんがチャレンジしたな、何かこの子一歩踏み出したなという所を見逃さずにほめてあげてほしいなと思います。その一歩はすごく大事な一歩なのです。

「自立した大人になる」… を考え直してみる。

最後に、自立について考えたいと思います。私は自立ということをやっと、依存しないこと、独り立ちできることだと考えていました。ところが最近、熊谷晋一郎先生、この方は生まれつき脳性麻痺という障害をもって生まれてこられて、小さい頃から車いすの生活をしてこられたのですが、東大医学部にストレートで入って、そのままお医者さんになって、今は東大の先生になっておられます。その先生が、ある対談で話されていた記事を読んで目からうろこだったのです。読んでいきます。一般的に「自立」の反対語は「依存」だと勘違いされていますが、人間は物であったり人であったり、さまざまなものに依存しないと生きていけないんですよ。依存先を増やして、一つ一つへの依存度を浅くすると、何にも依存していないかのように錯覚できます。「健常者である」というのはまさにそういうことなのです。つまり、自立というのは依存しないということではなく、むしろ依存先を増やしていくことなんだというのが熊谷



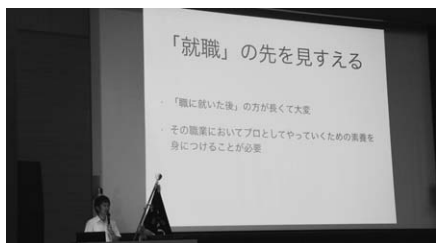
先生の主張なのです。確かに私も、家族、職場、もっと言えば、スマートフォンやインターネットなどいろんなものに依存して生きているわけです。ただ普段、それを意識していないので、自立していると思っているにすぎないのだということです。実は膨大なものに依存しているのに、「私は何にも依存していない」と感じられる状態こそが、“自立”といわれる状態なのだろうと思います。だから、自立を目指すなら、むしろ依存先を増やさないとイケない。なるほど、そうかと。振り返ってみて大学生における自立というも本質的には変わらないと思います。親離れ、子離れというのは難しく感じられる年頃かもしれませんが、親御さんにしてみれば子どものことが気になるけれど、子どもさんにしてみれば、もうあんまり構ってくれるなよという年代なのかもしれません。自立させるためには突き放さないとイケないと思われるケースもあるかもしれませんが、私は学生の自立を促すためには、手放す、突き放すというのではなく、よりどころが増えていくようにサポートすることかなと最近思っています。そういった依存先、よりどころを増やしていくようにサポートすることが彼らの自立につながっていくと思っています。

今日は三つの話についてお話をさせていただきました。子育ては多様な価値観、様々な価値観があるので、私の考えはその一つだと参考にしていただければと思います。私は多様な価値観がある社会がよいと思っています。だから子育てはこうあるべきだということは好きではないのです。お子さんに対する向き合い方、関わり合い方の選択肢が一つ、二つ増えれば有難いと思っています。

大久保 賢一

畿央大学教育学部現代教育学科 准教授

博士（心身障害学）筑波大学
筑波大学大学院博士課程において発達障害支援の臨床活動や研究に携わり、2010年に学位を取得。2008年から14年まで北海道教育大学准教授として特別支援教育に関わる科目の教鞭を執り、2014年4月から現職へ。専門は行動分析学、行動コンサルテーション。最近は学校支援（教員研修）や福祉事業所における強度行動障害支援にも精力的に取り組んでいる。



メッセージ

健康科学部
理学療法学科
学科長

庄本 康治

保護者の皆さまには日頃より理学療法学科の運営・教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

理学療法学科4回生は、4月11日から6



月1日までの1期目と、6月6日から7月27日までの2期目に総合臨床実習を実施しました。総合臨床実習では、数症例の患者さんを担当し、患者さんを詳しく把握する「評価」に基づいて実際に治療を指導下で実施していきます。最終的な学生の到達目標は、「指導下で基本的な評価を実施し、基本的な理学療法を実施する事」と設定しています。実習地は、近畿圏が大半ですが、関東、中国、四国、九州などの、リハビリテーション医療が有名で教員との関係が深い遠隔実習地もあります。遠隔実習地で実習した学生に聞くと、自分自身の課題を効率的に解決可能になった、タフになった、両親の有り難さを痛感した、他大学の学生

と友人になり視野が広がったと報告しています。

実習では、週休2日で朝から晩まで勤務しますので、学生さんの心身に大きな負担を与えていることは間違いありませんが、大部分の学生は、実習指導者と良い関係を構築し、実習そのものを大変楽しみ、結果的に実習地に就職する学生さんも多くいます。しかし、特に大きな問題も指摘されず、過重な課題がないにも関わらず、自らリタイアしてしまう学生さんが毎年数名います。過度な緊張、理学療法士として社会人になる不安感が強いなど、様々な原因がありますが、実習指導者と教員が協力して、一人ずつ時間をかけて対応しています。

海外インターンシップ スタート!

平成28年度から、「海外インターンシップ」の科目を、理学療法学科独自の科目として開講しました。これまでの語学能力の向上や国際的な視野の拡大などの目標に加えて、海外での理学療法の実情を知り、海外の学生や理学療法士と交流を深める機会をもつことで、将来グローバルな理学療法士を目指すことを目的とした取り組みです。訪問先は、台湾の国立台湾大学・附属病院



(台北)と中国医薬大学・附属病院(台中)の予定です(昨年度、中国医薬大学とは大学間提携を締結しました)。両大学とも海外留学や海外で学位を取得された教員が多く、教育・研究ともに世界有数の大学です。国立台湾大学ではアメリカを参考にした6年制のプログラムが開始されています(アメリカでは理学療法士になるためには大学院を卒業しなくてはなりません)。両大学とも海外の病院で実習ができたり、海外で働く卒業生が多くいる、まさにグローバル化が進んでいると言えます。

今年度参加する学生は16名で、4~8月の学内での事前学習を経て、9月8日(木)~13日(火)に台湾を訪問します。施設の視察だけでなく、英語での講義を受けたり、英語でプレゼンテーションも行います。そ



のため、事前学習では「日本の医療」や「畿央大学の特色」などのトピックスを調べてまとめ、英語でプレゼンテーションできるよう準備をしています。また、英会話の練習を行ったり、日本の文化を楽しく伝えるための余興を考えたりと、学生が主体となり積極的に活動しています。

学生たちが広い視野で興味や関心を持つことができ、将来、世界の理学療法士の仲間とつながっていけるような「海外インターンシップ」となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

理学療法学科の新入生歓迎会 学生レポート!

5月28日(土)に、石川河川公園で理学療法学科の新入生歓迎会を実施しました!1回生はほぼ全員参加、あわせて約120名が集まりました!

途中から雨も降りだして中々火がつかなくなったりしたのですが、楽しくおいしくBBQを楽しむことができました!BBQの後はレクリエーション!4択クイズでは、理学らしい「胸鎖関節は何関節でしょう?」という問題などが出題されました。ジェスチャーゲームは、班の代表が一人前に出てジェスチャーをし、ほかの人が一緒になって考えるのですが、お題が「骨盤の挙上」などのこれまた理学療法学科っぽいものも

ありたくさん笑わせていただきました!

同じ場所でも何年も行われている学科の新歓ですが、

今年もみなさんが本当に楽しめた新入生歓迎会になったのではないのでしょうか!皆さんのキラキラの笑顔が写真に収めることができとても楽しかったです。これから忙しくなると思いますが、この貴重な機会をきっかけに縦と横の交流を大事にできたらいいですね!(2回生K)



メッセージ

健康科学部
看護医療学科
学科長

河野 由美

平成21年に厚生労働省が「チーム医療の推進に関する検討会」を設置して以来、チーム医療に取り組む大学も増えております。ま



た文部科学省による「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」報告書が平成23年にまとめられていますが、ここでは地域包括ケアの時代にあたり、より一層、地域志向のケア教育の強化が求められております。看護医療学科は平成20年の開設時より、チーム医療や地域で生活する人を見ることを重視し、「チーム医療ふれあい実習」「離島へき地医療体験実習」など特色ある実習・科目を設置しており、看護職を取りまく状況を適切に把握し、専門職として求められるコンピテンシーを育成できるよう、一步先を進んだ教育を展開しております。さて、看護医療学科では本年度か

ら海外インターンシップを開講しました。多くの大学が企画を旅行業者に委ねている中、本学科では教員自らが企画立案し、スケジュールや訪問先との調整を行い、低費用で充実した内容のものとなるようにしております。今年はオーストラリアの認知症ケアや緩和ケア施設を訪問し、専門的な貴重な学びや経験ができるように計画しました。

本学で学んだ学生が社会に大きく貢献できるよう、建学の精神を礎としながらも、高い専門性と人間性を備えた専門職教育が行えるよう尽力していきたいと存じます。今後とも引き続き、皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

本学で学会学術大会が開催され学生も参加しました

6月25(土)・26(日)に第29回日本看護福祉学会学術大会(大会長:看護医療学科山崎尚美教授)が開催されました。(大会のテーマ:地域で創る認知症ケアのあり方ー多死社会におけるこれからの看取りー)学生24名がボランティアとして学会に参加し、参加者は両日で456名の大きな規模



の大会でした。他にも看護医療学科の2回生・3回生が老年看護学に関する授業の一環で参加し、スタッフ60名(学内外教員40名含む)が学会の運営に協力しました。

基調講演、教育講演の他に64演題の口演・示説発表や特別企画「台湾の高齢者ケアの実際ー事例検討を実施してー」をテーマに講師(小太陽 老人長期ケア協会会長 陳玲頰氏)を招聘しての講演会や2つの交流集会が行われました。ボランティア参加の学生は、学会には多くの方々が携わっていることを実感していました。臨地実習でお世話になった看護師さんと再



会したり、全く面識のない看護師さんと研究について意見交換をする中で、研究の内容はそれぞれ異なっても、医療者としてよりよいケアを患者さんに提供するために沢山の研究がなされていることを学んでいました。

「奈良県母性衛生学会学術講演会」に参加しました～廣金・藤澤ゼミ～

7月23日(土)奈良県医師会館で、県下の医師、助産師、看護師、看護師・助産師養成所の教員及び学生を対象に、第31回奈良県母性衛生学会学術講演会が開催されました。

廣金ゼミ・藤澤ゼミには、「母性」を卒業研究のテーマとする学生が所属しているため、毎年、教員・ゼミ生が聴講しています。そして今年度も、1題ずつ昨年度の卒業研究の発表をしました。(発表者は今



年3月に卒業した5期生、聴講したのは現4回生の6期生)

【発表者1】浅野 友里(現助産学専攻科生)

発表テーマ:「妊産婦のダイエットにおける助産師の保健指導に関する文献検討」

終了後の感想:「とても貴重な経験でした。発表後に質問をしていただき、研究を今後必要となる視点について新たに気付かせていただきました。」

【発表者2】小島 彩(現助産学専攻科生)

発表テーマ:「夫立ち合い分娩における満足度とその後の父親の育児参加についてーイクメンと呼ばれる男性はなぜ増加しているのかー」

終了後の感想:「すごく緊張しましたが、大学の中だけでは気付かない視点にも気づくことができたので、発表できて良かったです。事例研究では、タイムリーな興味深い内容を聞くことができました。」

メッセージ

健康科学部
健康栄養学科
学科長

小西 洋太郎



保護者の皆様には、本学・本学科の教育・人材育成にご支援をいただき、お礼申し上げます。

4月から新しく、中谷友美先生（応用栄養学）、熊本登司子先生（臨床栄養学）、串田修先生（公衆栄養学）が着任されました。

3人の先生は栄養学系の教育（管理栄養士養成教育を含む）および研究分野の新進気鋭の専門家です。

さて今回は、1回生の学生・保護者の方々へのメッセージです。入学早々、新入生対象の「宿泊研修」が行われました。自己紹介で始まり、教員紹介、大学生活のガイダンス、グループ討論、卒業生のメッセージ、テーブルマナーなど、次第に緊張もほぐれ和気あいあいとなりました。翌日は奈良県中央市場を見学しました。毎年この研修では自分の夢を作文にしてもらっています（4年後の自分に宛てた手紙と言ってよいでしょう）。その時点では夢であっても、志や人生観を同じくする仲間がいれば、夢から目標に変わり、実現に向けて計画性が生まれてきます。宿泊研修はその第一歩を

提供するものです。

あと3年半、乗り越えなければならない壁が次々と出現するでしょうが、臆せず自分の実力にあった高さのバーを確実にクリアしていく、一日一日を充実させることが最も大切なことだと思います。かつてマラソンの君原選手（メキシコ五輪銀メダリスト）は、トレーニング中苦しい時には、「まずはあの電柱まで走ろう」、「次はあの電柱まで走ろう」と自分に言い聞かせながら走っていたそうです。

学生一人一人が充実した大学生活を送られるようサポートしていきたいと思います。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

健康栄養学科の卒業研究について

健康栄養学科の「卒業研究」は選択制で実施していますが、毎年多くの学生が自主的に研究に取り組んでいます。研究課題は健康・栄養・食品に関する分野の問題の中から設定しています。栄養指導の場で活用できる成果や国内外で初めて報告される研究など、



学会でも発表できる高いレベルの研究に取り組んでいます。4回生は国

家試験の勉強と就職活動を並行して進めるため、卒業研究はハードな日程になりますが、研究成果を立派にまとめ上げています。

卒業研究では、研究計画の立て方、データ解析の方法、調査の進め方、論文の書き方、スライドの作成方法、プレゼンテーションなどを総合的に学習します。研究を進めていくと学生が予想したような結果が出ないこと、新たな問題に直面することがあります。試行錯誤を重ね、休日に追加実験を行ったり、結果の分析に遅くまで残ることもあり、最後まで自主性と積極性を持って取り組んでいます。

発表会は例年、冬木記念ホールで行って



います。広い壇上にあがり、多くの聴衆の前で発表するため、学生の多くは、発表前は緊張した表情をしています。しかし、発表が始まると、緊張もほぐれて説得力のあるプレゼンテーションを行っています。当日の司会、質疑応答の進行なども学生が担当します。学生同士が協力して助け合い、友情が深まっていくのも卒業研究の魅力です。

今年も多くの4回生が卒業研究に取り組んでいます。この授業を通して得た経験と知識は学生の成長を促すことと思います。

橿原市・橿原商工会議所連携「イチゴを使った新商品開発プロジェクト」

橿原市ならびに橿原商工会議所と行う産官学連携事業は、今年で8年目を迎えました。今回のテーマは、奈良県生まれのイチゴ「あすカルビー」と「古都華」を使った新商品開発で、1回生の14グループ、57名の学生が取り組みました。

「古代大和 飛鳥」をモチーフにした新商品開発のため、まずは橿原市を学ぶ勉強会を5月12日に行い、5月15日には橿原市を訪れ、この春開校した「なら食と農の魅力創造国際大学校」でイチゴに関する講習を受け、収穫体験や食べ比べを



させていただきました。そして、橿原市で収穫されたイチゴを使って2回にわたる試作会を実施し、自分たちのアイデアを凝集した新商品レシピを完成させました。6月30日には

橿原市・橿原商工会議所・畿央大学の審査員の方々に前にプレゼンテーション大会を行いました。素材の組み合わせ、盛り付けやネーミングなど学生らしい視点



を取り入れたアイデアに加え、プレゼンテーション力も問われました。審査の結果、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞が決定し、表彰状と賞品が贈られました。

現在、学生が考えたレシピを橿原商工会議所に所属される事業所様に公開し、興味を持っていただける事業所様を募っています。実際の商品化につなげるマッチング会に向けて、商品の魅力の伝え方などに磨きをかけていく予定です。1つでも多くのレシピが世に出すように！

メッセージ

健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記



平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

また、先日の保護者懇談会には多数のご参加をいただき、ありがとうございました。ゆっくりお話を伺えればよかったのですが、瞬間に時間が過ぎてしまいました。ご都合がつくときにはいつでも大学へお越しください。

前期試験も終わり、授業がなくなると、大学は夏休みに入り、急に静かになります。

夏休みは学生時代のかげがえのない期間です。旅行やインターンシップ、ゼミなど、日ごろはできない体験を積むことができる貴重な期間です。2回生は「プロジェクトゼミ」

の配属が決まりました。夏休み中に2回生・3回生合同のゼミが始まります。4回生も大学4年間の集大成としての「卒業研究」に本格的に取り組む時期にきました。夏休みの過ごし方が卒業研究のできばえを左右します。

今年度も卒業作品展を、奈良県文化会館の展示室で、来年2月25日(土)・26日(日)に開催します。その一角に「プロジェクトゼミ」のコーナーも作ることを計画しています。御期待ください。必ずや、4回生だけでなく、3回生、2回生の充実した成果をお見せできるでしょう。われわれ教員、全力で教育にあたる覚悟でいます。今後ともご支援を賜りますよう、お願いします。

こんなことをやっています。～3回生選択履修科目「ユニバーサルデザイン(環境)」～

建物やまちなみ等の「環境」に関して、ユニバーサルデザインの視点から、身近な課題を見つけ出し、問題解決のための提案を行う演習授業です。

今年度は、広陵町から課題をいただき、近隣公園の改善提案を行いました。



学生のプレゼンテーションの様子

まず、現地で、広陵町の方から説明を受け、公園の使い方を観察しました。提案内容が良ければ、実現の可能性の高いプロジェクトと聞かされると、採用されたいという意気込みの声があふれました。その後、問題点の洗い出し、時間帯を変えての訪問、利用者の様子の観察など、真剣に取り組む姿勢が見られました。遊びの場としてしか見てこなかった地域の公園を、こんなに真面目に観察したのは初めてだとの声も聞かれ、環境に対するユニバーサルデザインへの関心が深まる機会になったようです。プレゼン後、副町長からは「広陵町に縁のある竹取物語をコンセプトにした全体計画や、行燈に見立てたトイレの提案など、



副町長より講評をいただき真剣に聞き入る学生達

若者らしい、面白いアイデアが聞けて有意義だった。全てを実現することは難しいが、要所ごとに取り入れたいものはいくつもあった」と、期待のこもったお言葉をいただきました。

ご協力いただいた広陵町の皆様、ありがとうございました。

靴下コンテスト&ファッションショー

プロジェクトゼミ(村田ゼミ)で取り組んでいる活動の一つとして「靴下コンテスト&ファッションショー」を紹介いたします。

広陵町は靴下の町として知られていますが、2014年から広陵町靴下組合主催で靴下デザインコンテストを行っています。今年は全国から1600点もの応募作品がありました。その中から広陵町長賞、靴下組合長賞など16点の入賞作品が選ばれま

す。広陵町の靴下メーカーでは入賞画を忠実に再現した靴下をつくら

せ、ゼミ生たちは靴下を引き立たせる衣装をデザイン・制作し、広陵町かぐや姫祭りのファッションショーで自らモデルとなって披露します。

昨年はゼミ生がポスター・チラシの制作、演出、構成、ナレーターなど担当を決め、夏休み返上で衣装製作に取り組みました。2回生は3回生に教えてもらいながら、3回生は4回生に相談をしながら。ファッションショーには4回生も加わり、総勢28人の舞台となりました。靴下組合、商工会、町役場の方々と打ち合わせを重ねる中で「大人の真剣さ」を感じ、貴重な経験ができることに感謝し、全力を尽くさねばならないと思ったそうです。今年も9月17日のファッションショーで靴下の魅力を伝えることができるよう、しっかりと準備を進めています。



メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長
安井 義和



後援会の皆様には本学科の教育研究等にあたたかなご支援・ご理解を賜り、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございます。

保護者懇談会にはご多忙の中、多くの保護者の皆様をご参加くださり、ありがとうございました。学科説明会では時間も少なく、ご質問をお受けする時間的余裕も少なく、大変失礼をいたしました。軽食を頂きながらの懇談会では多くの方々とお話したことが、ありがたく思っています。学生の将来を見据えての状況把握にお互いに役立ったと思います。

現4回生は教員採用試験も7月から本格化し、大学の自習室で夜遅くまで頑張っている姿を見ます。教員も模擬授業やピアノ練習、マット練習等々に対応しています。企業を進路に見据えている学生は猛暑の中、

連日の企業回り等で奔走し、彼ら4回生の姿をみて、下級生は自分たちの1・2・3年後に焦点を絞るスイッチオンしてくれることを望みます。現3回生以降は特別支援教員の資格取得のために来年度から始まる実習校の開拓も目途がたちました。畿央大学の各教育実習は基本的に母校園ですので、特別支援学校の実習校開拓には数年前から動いた成果だと考えています。何はともあれ、個々の学生の積極的・主体的な取組みが大前提ですので、後援会の皆様にはご家庭におかれましても今まで同様、お子さんたちへのご指導・ご配慮をよろしくお願ひ申し上げます。

強いつながりの中で、多くの畿央生が夢の実現へ！

平成27年度は、教育学部現代教育学科7期生が優秀な成績を残してくれました。

37名が小学校教諭（大阪府、奈良県とも14名、大阪市8名など）、4名が養護教諭、1名が中学校教諭（英語）の採用試験に現役合格。合格率は小学校64.9%（昨年度71.4%）、養護教諭・中学校教諭（英語）50.0%でした。また、公立幼稚園・保育園は、26名が現役合格、合格率は92.9%（昨年度91.7%）となりました。

この成果を支えているのは、つながりの強さです。

「自信がなくて落ち込んでいた時、いつも前向きに背中を押してくれる先生方

や、『頑張ろう。』と毎日一緒に同じ部屋で頑張る仲間の支えがあつての結果だと感じています。」「先生方の専門的な視点や経験談を聞き、面接では自分の軸を定め、熱意、夢や希望について自信を持って話せるようになりました。」などの声が、それを物語っ

ています。

教採自習室の黒板には仲間を応援するメッセージが。机の上には、神社のお札が（笑）。キャリアセンターの入り口には、教職員の手書き・手作りの案内コーナーが、学生たちを一杯、応援しています。



初年次教育(キャリア形成セミナーとベーシックセミナー)での様子

初年次教育として「キャリア形成セミナー」および「ベーシックセミナー」を前期に開講しました。これからの将来を見据え、大学時代に何をどのように学ぶのか、を学ぶ授業です。

「キャリア形成セミナー」では、消防署より救命救急士の方から専門の講習を受けたり、ストレスへの対応や薬物の危険性について専門家から学んだりしました。

「ベーシックセミナー」では、それぞれの興味・関

心でグループを作り、課題を設定し、情報を収集し、最後はスライド資料を作成し、発表をしました。男性保育士の存在、教員と保護者とのかわり方、障がいのある子どもへの対応、人間関係とコミュニケーションなど、教育に関わる様々な現状や課題を知ることができました。これらの学びは、1年生後期から始まる専門的な授業の理解に、そして2年生から始まるさまざまな実習での行動につながります。



担任からのメッセージ

畿央大学の担任制度は、教員が担任として学生との人格的な接触をはかり、学生生活全般の指導を行うことによって、建学の精神を身につけた有為な人材を養成することを目的としています。

健康科学部は学科ごとに2～4クラスを編成し各クラスに1名、教育学部はコースごとに2～6名の担任を置くことにしています。健康科学部4回生、教育学部3・4回生は卒業研究の指導教員が



理学療法学科1回生担任

今北 英高

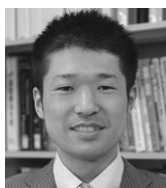
まだまだ初々しい姿の1回生ですが、面談で個人個人と話すときみなさんしっかりとこれからのビジョンを持っており、それに向かって進んでいるようです。遅くまで勉強しているクラスの学生を見かけると、いつも心の中で応援しています。在学期間中にいろいろな知識をつけ、たくさん経験を積むことで素晴らしい人間となっていけると思います。そのように導けるよう私も努力いたします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



理学療法学科1回生担任

岡田 洋平

高校生活から環境や学習内容も変わり、戸惑っている学生さんもしましたが、徐々に環境にも慣れ、友人もでき、サークルやクラブにも所属する学生さんも多く、学生生活を楽しんでいます。親バカかもしれませんが1年生は真面目な印象を受けています。理学療法に対するモチベーションが非常に高い人から、まだ曖昧な人もいますが、一緒に歩んでいきたいと思ひます。これから多くの専門知識、技術を学んでいきます。日々の学習が大変重要になりますので、ご家庭でもサポートしていただければと思います。何か変化に気づかれた際はご連絡ください。よろしくお願ひいたします。



理学療法学科2回生担任

前岡 浩

実技を含むより専門的な講義が増えることで、日々の学習に対する変化がみられます。1回生の時にも「勉強しないといけない」「復習が大切」などの意見はありましたが、行動が伴っていないことも多い状況でした。しかし現在は、講義以外の学習時間もほぼ全員増加し、実際に努力している学生が増えています。講義に参加する姿勢も改善し、クラス全体でも良い状況と考えます。引き続き、ご自宅での生活状況を見守っていただき、学習や成績状況など大学生活に関して、お子様とたくさんお話をさせていただければと思います。



理学療法学科2回生担任

梶原 由布

大学生活も2年目に入り、忙しくも楽しい毎日を送る姿が見られます。サークルでは自分達が先輩となったことで、責任感も出来ているようです。学業面では昨年度よりも専門科目が増えたことで、自主的な学習時間が増えている印象です。また実技科目も始まり、机上の勉強だけではなく、学生同士で患者さんに触れるための練習に取り組んでいます。筆記、実技ともに勉強が難しくなる中で少しでも学生の理解を深める助けとなれるようサポートしていきます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



理学療法学科3回生担任

松尾 篤

学習面でも精神面でも日々非常に成長しております。学習内容が全て専門分野になり、これまで以上に難しく、厳しい学習に向き合っております。また、ほとんどの学生がK10元気塾に参加し、より実践的な学習を行いながら充実した毎日過ごしております。彼らの眼差しはキラリと輝いており、少しずつですが理学療法士というプロフェッショナルに近づきつつあるように感じております。本学の建学の精神である「徳をふまず、知をみがく、美をつくる」を心身に染みこませ、最高の理学療法士として社会に貢献できるように、精一杯学生達と一緒に学んでいきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



理学療法学科3回生担任

宮本 直美

専門的な知識や技術の修得に難しさを感じながらも、多くの学生さんが一生懸命に取り組んでおります。各専門分野にも、興味や関心を持つことができています。日々の学習時間は増えていると思ひますが、一人一人の表情は明るく、充実した大学生活を過ごしている印象です。後期の授業を終了しますと、病院での長期実習が始まります。大学での勉強とは異なり、実際の医療現場で学習することができる貴重な期間ですので、最後までしっかりと取り組めるようにサポートしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



看護医療学科1回生担任

山本 裕子

春の高野山宿泊研修と前期面談を通して、学生の皆さんは目標を同じにする多くの友人に恵まれ、楽しい大学生活のスタートを切ったような印象を受けています。科目担当教員からも、積極的に学習・演習に取り組む姿勢がみられると聞いています。

看護医療学科での学習は質・量ともに大変で、ご家庭でも不安を口にされることもあるかもしれませんが、私たちは担任として保護者の皆さまのご協力を得ながら、4年間しっかりサポートしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



看護医療学科1回生担任

大友 絵利香

早いもので入学から5か月が経ち、すっかり畿央大学に馴染んでいる様子です。5月から6月にかけての前期担任面談では、皆が口をそろえて「勉強についていくのが大変です。効果的な学習の方法を教えてください」と専門科目を含む大学の学びに真剣に取り組んでいる様子が見られます。このことから、今年の新入生は、学習に対

ゼミ担任となります。

担任の役割は、「学習指導」「生活指導」「進路・就職指導」「学生の危機管理」が主なものですが、学生一人ひとりの状況を系統的に把握していくために全学年において年2回の全員面談を実施しています。また、学生の求めに応じ、また必要性が生じた時には随時に面談を行うこととしています。

健康科学部1～3回生担任、教育学部1・2回生担任から、担当されている学生の様子などについて保護者の方へのメッセージを寄せていただきました。

して高いモチベーションを持っているのだなと感じています。学内で出会っても元気な笑顔で挨拶してくれるので、私も力をもらっています。



看護医療学科1回生担任

須藤 聖子

前期面談を6月に終えました。学生は、大学生活に慣れ、看護職を目指すという目標に向かって学ぶ意欲も高く、前向きに学修に取り組んでいました。1年生で学ぶことは、今後の学修の大切な基礎となりますので、考える力をみがき、学生同士、お互いに学び合う姿勢を続けていってほしいと思ひます。担任として、できるだけ学生のサポートをしたいと思ひますので、ご家庭では、温かく見守ってくださるようお願いいたします。



看護医療学科1回生担任

寺田 美和子

前期面談では「空き時間に友達と勉強しています」「大学は楽しいです。友達がかきたから」と元気に話してくれる学生が多かったです。「真面目に頑張っている」1年生の特徴と、元気な学生が多い4組の特徴を表している言葉だと思ひます。前期は休まずに大学にきているかが担任として一番気になることでしたが、面談時の学生の様子を見て安心しました。お子様の前期試験の結果はいかがでしたか？良くても、悪くても入学して半年、慣れない環境で頑張ったお子様をほめてあげてください。これからもよろしくお願ひします。



看護医療学科2回生担任

堀内 美由紀

基礎看護学実習では、「看護」について理解を深める良い機会になったと多くの学生が話していました。授業内容に専門性を帯びてきたことで学ぶ姿勢にもよい緊張感が出てきています。その一方、復習は欠かせない状況で、部活やサークル、バイトと交友関係も広がり、時間の使い方に苦労している様子です。多くのことに関心を持つてほしいと思ひつつ、優先すべきことは大丈夫？と時々水を差す助言をしてしまいます。特に深夜におよぶバイトは睡眠時間の確保だけではなく安全面でも注意が大切です。ご家庭でもお声がけをお願いいたします。



看護医療学科2回生担任

祐實 泰子

大学生活も1年が過ぎ、先輩と話しているところなどを見かけると、初めての講義で緊張していたころを思い出し、先輩がっているところが大変ほほえましく、つい笑顔になることもあります。この1年で、初めての臨地実習も経験し、泣いたり、笑ったり、感動したり、本当に一生懸命頑張ってきました。2回生になってからの面談でも、ほとんどの人が笑顔で近況を報告してくれました。

夢の実現に向かって、一生懸命頑張っている皆さんを、今年は講義がほとんどありませんので、陰ながら見守っております。



看護医療学科 2 回生担任

文 鐘聲

担任面談では、2 回生の生活が始まり元気に大学に通学している様子がうかがえました。前期は多くの学生さんが「1 限目（9 時～10 時半）の授業がない曜日が何日もありません。」「授業で出された課題以外で自分の勉強がしたいが、そんな時間がない」との声が多かったことから、「朝の時間を活用し、1 限目のない曜日でも早めに大学に来てやりたい勉強をしてみよう」とアドバイスしました。規則正しく、かつメリハリをつけた大学生生活になるよう、一緒に応援していきましょう。



看護医療学科 2 回生担任

小林 智子

基礎看護学実習を経験したことで一回り成長し、改めて看護職への強い意志を確信できたのではなかったでしょうか。2 回生は唯一、臨床に出かける機会がないためか、緊張感がなく中だるみの状態になりがちです。国家試験は遠い先の話と捉えず、一つずつ着実に力をつけていって欲しいと思います。後期からは授業を通して関わる機会が減りますが、これまでと変わらず、担任としてサポートしてまいります。自身の健康管理については本人たちに任せておりますが、ご家庭においてもご支援賜りますようよろしくお願いいたします。



看護医療学科 3 回生担任

山崎 尚美

3 回生の皆さんは、2 年次とは異なりアルバイトやサークル活動の時間と学習のバランスを調整し、コツコツと課題に取り組む姿がみられており、頼もしく感じています。さらに、今年は 8 月中旬から各領域の臨床実習がスタートしています。暑い時期の実習になりますので、体調管理をしっかりとしていただきスムーズな実習開始になりますよう、規則正しい食生活や過度の冷房を避けるなど、ご家庭でもサポートをしていただきますようお願いいたします。



看護医療学科 3 回生担任

廣金 和枝

2 回生から担任となり、1 年が経ちました。前期担任面談では、保健師課程のこと、養護教諭採用試験のこと、専攻科進学など、皆、しっかりと自分たちの進路を模索し、今、どのような生活を送るべきかを見据えることができ、1 年の間の成長を感じました。いよいよ始まる後期の臨床実習に向けて、クラス皆で支えあい、助け合いながら、充実した学びを得て、一段と成長してほしいと思っています。微力ながら支援していきたいと思っておりますので、ご家庭におかれましてはご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。



看護医療学科 3 回生担任

堀江 尚子

前期面談では、卒業後の具体的な進路について考えを聞かせてくれる学生が増えてきました。自身のライフスタイルを考慮したうえで、進学先や就職先についてなどでした。これまでの漠然とした医療職に就く未来というのではなく、2 年後に自己決定しなければならぬ間近な将来を感

じている様子を感じました。一方、8 月末から始まる実習の準備に集中している人も多くいました。この実習は数か月続きますので健康管理が重要になります。この期間、ご家庭でも体調変化へのご配慮をお願いしたいと思っております。



看護医療学科 3 回生担任

藤澤 弘枝

1 回生から日々の学習の積み重ねの大切さをお伝えしていましたが、3 回生になって、各科目の課題に寝る間も惜しんで取り組んでいるお客様の頼もしさを感じると同時に、その大変さも感じておられるのではないかと思います。今後は国家試験という大きな夢の達成に向けて、ノンストップで突き進んでいかなくてははいけません。この時期にお子様の生活をしっかりと見ていただき、一緒に改善できることはないか、しっかりと見直すきっかけになっていただければと思います。身体的にも、精神的にも、保護者の方々の支えが大切だと思いますのでよろしくをお願いいたします。私も一緒に支えてまいります。



健康栄養学科 1 回生担任

前原 佳代子

入学して 5 か月がたち、入学当初の興奮が少し冷めて、1 年生の皆さんが勉強、課外活動、アルバイトに精を出し始めた様子が伺えます。高校までとは異なり、大学では自ら学ぶ姿勢が求められます。知をみがき、仲間を得て、自らの引き出しをたくさん作り、実り多い 4 年間になりますよう祈念します。学生皆さんへの目配りや必要なサポートをしていく所存です。保護者の皆様には、ご家庭の様子などお目配りいただき、何かありましたらご連絡いただくと、ご支援よろしくお願ひ申し上げます。



健康栄養学科 1 回生担任

中谷 友美

学生たちは大学生活にも慣れ、授業以外にもサークル活動や地域連携活動、アルバイトなど、忙しくも楽しく過ごしているようです。実習では班員と協力しながら積極的に取り組む姿を見せてくれましたが、提出物にケアレスミスが目立ちます。物事に集中して取り組む、見直しをするといった習慣を身に付けて欲しいと思います。前期の担任面談では、高校までの勉強方法で通用するか、単位を取れるかを心配する声も聞かれました。後期の面談では、定期試験の結果を見て、勉強方法を確立していけるようサポートして参りたいと考えております。



健康栄養学科 1 回生担任

村木 悦子

入学当初は何かと気疲れしていた様ですが、今では楽しい大学生活を過ごしてくれています。授業、サークル、課外活動、アルバイトと盛りだくさんな毎日ですが、時間を上手にやりくりして、なるべく多くの事を経験しようと頑張っています。その反面、自己学習ができず、定期試験に不安を抱いていましたので、友達同士助け合いながら、時には先生方の力を借りて、上手く乗り切る様アドバイスしました。これから徐々に悩みも増えてくると思いますが、担任として、付かず離れずの関係で見守っていきたく思います。



健康栄養学科 2 回生担任

並河 信太郎

授業・試験・課題作成に慣れてきた様子で、課外活動も活発に参加しています。健康では睡眠不足を課題にあげる学生が複数いました。十分に睡眠がとれるよう生活時間の自己管理をアドバイスしました。コース選択科目の履修が始まり、将来の仕事が視野に入ってきました。病院関係、食品開発、栄養教諭と希望進路を明確にしている学生がいる一方で、模索中の学生も多いです。専門科目を履修する中で、自分の目指す仕事が見えてくると思います。今後も充実した学生生活を送れるようサポートしていきますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



健康栄養学科 2 回生担任

上地 加容子

大半の学生は、クラブ、ボランティア活動、アルバイトを生活の中うまく組み入れ、充実した学生生活を送っているようです。一方、1 回生に比べて履修科目数や専門科目も増えたため、試験が心配だという学生も見受けられました。大学生活が楽しいという学生と、色々な悩みを抱えている学生が混在している状況です。何か困ったことがあれば一人で悩まず、相談に来よう話していますが、ご家庭でも会話を心がけていただくなど、皆様と一緒に成長を見守っていきたくと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



健康栄養学科 2 回生担任

柴田 満

大学生活にも慣れ、勉強にクラブ・サークル・ボランティアなどの課外活動に熱心に取り組む、充実した日々を過ごしている様子が伺えました。2 回生からは専門科目が大幅に増えるため、予習・復習や試験に向けての勉強に不安を感じている学生が多くみられました。時間の使い方についての目標を口にする学生も多く、日々の学習の積み重ねが大切であることを実感しているようです。これからも、一人ひとりの学習面や生活面のサポートを精一杯してまいります。ご不安なことがございましたら、いつでもご連絡いただければと思います。



健康栄養学科 3 回生担任

金内 雅夫

土用の丑を迎えて、今年は鰻を口にする機会がなかった。庶民にとって高値も然ること乍ら、絶滅危惧種対策も手詰まりとなれば、鯰丼で我慢するしかない。日本の食文化も潮目かももしれない。そんな中で、企業とくに食品開発を志す者が増えてきている。従前と比べて 3 回生で方向性を定めた学生が多いことは喜ばしい。然しまた、単一の食材・食品で、ヒトが健康を得られるという訳でもなからう。日本食や地中海食が尊ばれる所以である。夏の尽日、偶にはご家族で『食』について語り合ってみては如何だろうか。



健康栄養学科 3 回生担任

永澤 健

学生は忙しい毎日を送っていますが、クラスは和やかな雰囲気、友人達と協力して実験や実習の課題に取り組んでいます。助け合い、教え合いながら楽しく過ごしている様子です。3 回生では、これまでに身につけた専門知識をさらに深めるとともに、病院や給食の実習が始まっています。これまでと同様、課題やレポートに追われる生活ですが、学生たちは真剣に学習に取り組み、

着実に力をつけ成長しています。面談では、主に卒業後の進路について話をしています。この時期は、将来の目標を確認して、具体的な進路先を決めていくことが必要だと伝えていきます。スムーズに就職活動のスタートを切るためにも、進路についてじっくり考えることが必要です。残りの学生生活がさらに充実するようサポートしますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



健康栄養学科 3 回生担任
松村 羊子

2 年次は専門科目がぐっと増え、とても忙しく過ごした様子でした。3 年次は、学外で行われる臨地実習に対しての不安が一番大きいようす。

しかし、今まで学習してきたことを現場で実践できる場です。また管理栄養士の職務内容を実際に体験できる貴重な機会でもあります。これまで取り組んできたことを精一杯生かせるようにしっかり準備し、社会人としての行動を意識し、よい緊張感を持って臨んで欲しいと願っています。また、進路は迷っている学生が大半ですが、自分で情報を取りにいけるようなアンテナを張って欲しいと思います。



人間環境デザイン学科 1 回生担任
村田 浩子

入学式から 5 ヶ月が過ぎました。履修登録、90 分間の授業、アルバイト、試験、大学生として初めての経験が続き、学生たちに多少疲れが見えた

時期もありましたが、前期の学生面談でそれぞれの状況を聞き取りしたところ現在は忙しい生活にも慣れ元気にやっている様子です。担任として、目標を持って入学してきた学生の夢の実現に向けてはもちろんのこと、将来の進み道に迷いがある学生にもしっかりとサポートしていきたいと思っています。この大学の 4 年間で、学生たちにとって有意義で実りある時間になるよう期待しております。どうぞよろしくお願い致します。



人間環境デザイン学科 1 回生担任
加藤 信喜

1 回生の担任になりますと、まるで親御様と同じような気分です。「A さんは友達とうまくやっているのだろうか…」

「B 君は休まずに来ていたのだろうか？」そんな様々な心配事でそわそわと落ち着きません。6 月に 2 組全員の前期個人面談を終え、私の心配もどうやらうしろこし苦労であったようです。「学校に来るのがとても楽しい。」「畿央に来て本当に良かった。」という声を多く聞くことができたからです。新しい環境にも慣れ、のびのびと大学生活をエンジョイしています。しかし、中には悩みを抱えている学生もいないわけではありません。そんな学生ともとことん付き合う覚悟です。親が子に教えて育てる「教育」から、親も子と共に学ぶ「共育」の時代がきているように感じています。



人間環境デザイン学科 2 回生担任
藤井 豊史

2 回生になり専門の授業が増えコース毎の演習も始まりました。後期にはゼミも始まりました。これらは何れも分野が多岐に渡り、学生達はその

うち何を学ぶのかを選ばなければなりません。つまり、そろそろ自らの将来を決定すべき時期が来たのです。選択基準は多々あります。自分は何が得意か、社会にとって何が有益か、人生の最後に振り返って満足できるのは何か、等々。ご子息にお伝えください。熟慮して道を選び、決断の後には必ず努力せよと。茨の道に見えても続けさえすれば、いつか驚くほど進歩した自分を発見できるはずだと。微力ではありますが、そのためので

きる限りの手助けをさせて頂く所存です。



人間環境デザイン学科 2 回生担任
李 沅貞

ピカピカの新入生からもう 2 回生の先輩になりました。いつの間にか大学生活にもすっかり慣れ、頼もしい先輩の顔になっていました。後期からプロジェクトゼミも始まるので、進みたいコースを決めて将来について具体的に考える時期に差し掛かっています。この夏休みは「やってみたい何かが見つかる」貴重な時間です。有意義に過ごせるよう見守っています。ご家庭におかれましても、ご指導ご支援のほどお願いいたします。



人間環境デザイン学科 3 回生担任
東 実千代

「ついこの間入学したような気がするのに、もう 3 回生。」前期の面談時に何人の学生さんとこの会話をしたことでしょう。建築、インテリア、

アパレル、教職と軸足を置く分野はそれぞれですが、専門科目の学習や課題のこと、部活の悩み、資格試験への挑戦、就職に対する漠然とした不安など様々な話題があがりました。この夏にはインターンシップに参加する人も多く、成果が楽しみです。また、後期からは 2・3 回生合同のプロジェクトゼミが始まります。昨年とは違い、2 回生を引っ張っていくという立場が成長に繋がると期待しています。



人間環境デザイン学科 3 回生担任
西山 紀子

学業やサークル活動などますます充実した日々を送っている様子が、面談を通してうかがえました。演習課題の厳しさに悲鳴も聞かれた去年の今頃と比べると、忍耐や責任感など精神面での成長が認められます。加えてキャリアセミナーやインターンシップなど、自身の将来を見据えての取り組みも積極的に進めています。

一方、これまで目標としてきた建築・インテリアの仕事や、教員の道に迷い悩むこともあるようですが、保護者の皆さまと力を合わせ、サポートしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



現代教育学科
学校教育コース 1 回生担任
(1 回生担任代表)

西端 律子

面談を終え、皆、新しい世界を作りだそうとしていました。新しい友達、進路を見ずえでの授業以外の勉強、サークル、クラブ活動、アルバイト等、どの学生も目をキラキラさせながら、語ってくれました。しかし、通学時間の長さ、授業数や課題の多さ、来るべき試験への不安、新しい人間関係によるストレスを吐露してくれた学生もいました。「正直第一志望ではなかったけれども、畿央大学に来てよかった」という学生も少なからずいます。学生や保護者の皆様のご期待に応えられるよう、私どもも新たな気持ちでこの 1 年間、一緒に歩む所存です。



現代教育学科
学校教育コース 1 回生担任
(1 回生学校教育コース担任代表)

西尾 正寛

「どうして畿央大学を選んだの？」と問いかけると、皆それぞれに理由をもっていきます。大学で「免許や資格を取る」ことは「卒業後に使うため」と理解しています。多くの学生から、今後少なくとも 4~6 年ぐらいの見通しをもって

入学してきたことを実感できます。授業の初め、少し待っていると私語がずっと止まります。学内で会うと誰とも挨拶を交わせず。授業内容などで質問を受けることも増えてきました。こうした小さな当たり前の積み重ねが将来への道をつくりまします。とても楽しみです。



現代教育学科
学校教育コース 1 回生担任
生野 勝彦

学生の様子を観察していると、本当に真面目に授業に取り組んでおり、そして友人と楽しい時間を過ごしているよ

うに感じます。クラス面談から小学校教諭を目指している学生がほぼ 100% でした。少数ですが英語教諭を考えている学生もおりました。すでに学校ボランティアに行って、生活を充実させている学生もいます。多くの学生が様々なアルバイトをしていることがわかりました。アルバイトは悪いものではありませんが生活の中心が大学から離れないようにして欲しいと思います。ご家庭に置かれましてもご指導の程、よろしくお願い致します。



現代教育学科
学校教育コース 1 回生担任
衛藤 晶子

面談では多くの学生が入学後の不安が解消され、大学生活が楽しいと語ってくれました。特に進路を自分なりに考

え、学習やクラブ・サークル活動も充実させようとする強い思いをもっていることが印象的でした。今の気持ちを大事に、一つ一つの課題を丁寧に成し遂げることができるよう、担任としてサポートしていきたいと思ひます。ご家庭で気になるようなことがございましたら、気軽に教員に相談するようお声かけをしていただければ幸いです。



現代教育学科
学校教育コース 1 回生担任
大久保 賢一

多くの学生さんが、新しい環境に慣れ、大学生活を充実させてくれているようです。しかし中には、高校時代まで

の学び方との違い、あるいは自分の性格や適性、進路などについて悩みを抱えている者もいます。大学は高校よりも自由度が高くなる分、自分で決断しなければならない部分が多くなります。どのようなことでも気軽に教員に相談するよう促していただければ幸いです。



現代教育学科
学校教育コース 1 回生担任
Randy Muth

1 回生は団結心が強く、グループ活動を非常に円滑に行っています。また、多くの学生はやりたいことを明確に

示しており、目標を果たしたいという強い意思を見せています。多様な資格を取得したいという学生が多く、この大志を抱くことは非常に良いことですが、その大変さを理解しているか、また、大切な時間を逃さないかと心配しています。学生の支えとなれるよう、全力を尽くしたいと思います。お子様は立派な大人、社会人になるための重要な最後の段階に入っています。お子様がここまで成長できたのは皆様の愛情や努力のたまものであり、さらに今、またその愛情が必要とされています。大学での活動に関心を持って頂きたいと思ひます。皆様からの愛情ある声かけは不可欠です。希望と不安を抱えているお子様を励まして頂きたいと思ひます。



現代教育学科
幼児教育コース 1 年生担任
(1 年生幼児教育コース代表)

粕井 みづほ

幼児教育コースは明るく元気の学生が多く、ほとんどの学生がクラブやサークルに参加し、友人もでき、充実した学生生活を送っている様子です。大学で初めての試験はどんなものだろう、どのように勉強すればよいのだろうと心配する人が多かったのですが、乗り切れているようです。最近、ごく一部ですが、遅刻・欠席しがちな人が出てきています。保護者の方々には生活リズムが崩れていないか、きちんと遅れずに家を出ているかを見守ってくだされば有難いです。



現代教育学科
幼児教育コース 1 年生担任

中村 恵

前期の個人面談では、「大学が楽しい」「色々なことにチャレンジしたい」といった前向きな話を聞くことができると嬉しく思いました。また、高校時代とは異なる講義形式や勉強方法に少し戸惑いながらも、グループでの課題制作などに真摯に取り組む姿が見られ、何事にも一生懸命頑張る姿が印象的です。学生の皆さん一人ひとりが充実した日々を過ごせるように、精一杯サポートしていきたいと思えます。保護者の皆様には、今後とも暖かい見守りとご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。



現代教育学科
幼児教育コース 1 年生担任

細越 寛樹

入学から数ヶ月がたち、ほとんどの学生が授業にも慣れ、新しい友達との関係を築き、大学生活を楽しみ始めていました。少しだけ心配なのは、まずアルバイトの時間が長い学生です。特に幼児教育コースは授業や実習が多くなっていくので、今から少しずつ調整するように話をしていました。次に、自分がどの仕事につくかで迷い悩んでいる学生もいました。早く決まるに越したことはないのですが、まだ 1 年生ですので、これから授業や実習を通じて自分がしたいことが実感としてわかるように、我々教員も見守っていきたくと思います。



現代教育学科
保健教育コース 1 年生担任
(1 年生保健教育コース代表)

古川 恵美

保健教育コースの 1 年生は、全員が養護教諭をめざして入学してきていると面談をとおして聞いています。学生のいきいきとした表情や、「大学生活が楽しい」、「この大学を選んでよかった」という声を聞き、一緒に頑張っていこうと私自身も強く思っています。また、養護教諭以外の進路選択を、選ぶ方も出てこれると思います。その時々学生の思いを、保護者の皆様と共に支えていければと思います。よろしくお願ひいたします。



現代教育学科
学校教育コース 2 年生担任
(2 年生学校教育コース代表)

八木 義仁

時の経つのは早いものです。フレッシュ 1 年生は、充実の 2 年生になりました。面談をしていても、それぞれが自分を見つめながら、これからどうしていくべきなのかをしっかりと見定めているように感じました。ある人は学校インターンシップに、ある人はボランティアに、ある人は自己をブラッシュアップするために、それぞれの意志のもとに進んでいます。よりよい教師にな

るためには、今、何をすることが必要かを考えて着実に歩を進めている学生のみなさんを見守りたいと思います。



現代教育学科
学校教育コース 2 年生担任

石川 裕之

早いもので、昨年 4 月に晴れやかな顔で入学してきた学生さんたちも 2 年生となりました。もともと将来の夢をしっかり持って入学してきた学生さんが多いので、今のところ進路についての悩みはあまりないようです。ただ、大学生活に慣れてきたため、一部の学生さんの中には早くも中絶のような雰囲気が見られます。教採対策や就活に追われない 2 年生だからこそ、しっかりと自己管理をし、学内の講義や学外の活動の中から多くのことを学んでほしいと思います。保護者の皆様におかれましても、ぜひご家庭でのサポートをお願い申し上げます。



現代教育学科
学校教育コース 2 年生担任

島 恒生

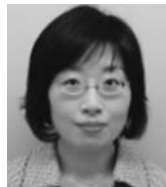
2 年生になり、自分の進路への思いが確かになりつつあります。それに伴い、自分の長所や強みをぐんと伸ばしていくことの大切さと、自分のウイークポイントを少しでも補っていくことの必要性を、それぞれがしっかりと、なかには、少しずつ、さらには、焦りながら(?)、意識できるようになってきました。今、自分がこうして多くの支えの中にいることを感謝しつつ、互いに支え合い、励まし合い、磨き合って、自分の人生を削っていってくれることを期待しています。焦ることはありません。しかし、着実に、歩を進めてくれることを、応援しています。



現代教育学科
学校教育コース 2 年生担任

深田 将揮

大学生活にも慣れてきた様子でした。専門の勉強も増え、課題や発表の準備等に頑張っている様子もよくわかりました。また、課外でも学校インターンシップやボランティアにも積極的に取り組み、1 週間の予定がぎゅぎゅ詰まっているという学生が多かったのも印象的でした。とは言え、面談では、健康面も大切にすることも伝えてあります。もしご家庭で気になるようなことがございましたらお気軽にご相談いただければと思います。



現代教育学科
学校教育コース 2 年生担任

宮村 裕子

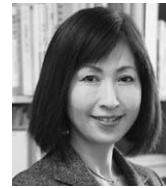
2 年生となり、学校インターンシップを通じて学校現場への理解や進路に対する考えを深めようとする学生の姿が見られます。専門科目の授業も増えるので教職への興味関心が広がり、次年度の教育実習に向けて意欲を高める時期でもあります。他方、忙しい毎日のなかで自分の目標がつかみきれず、時間を有意義に活用できていないと自覚・反省する声も聞かれます。「今」を楽しむことも大切ですが、先を見通して「今」何をすべきかを意識することも必要です。少しずつでも自信をつけて、自分で歩を進めていけるよう担任として応援していきたいと思ひます。ぜひご家庭でも学生の話をお聴きあげてください。



現代教育学科
幼児教育コース 2 年生担任
(2 年生担任代表)

三好 環

学生たちは大学生活にもすっかり慣れ、面談でも生き生きとした表情で、毎日を充実して過ごしていると話してくれ、私も嬉しく感じています。付属幼稚園の見学実習での学びや 2 年生になって増えた専門科目での学修を通して、より具体的に保育者としての未来を意識し始めているようです。しかし、今後の将来をどう作っていくか、何を選択するか、迷いや悩みが生じることもあると思います。じっくり話を聴いてともに考え、学生一人一人がしっかりと自分と向き合うことができるよう、保護者の皆様とともに支えていきたいと思ひます。



現代教育学科
幼児教育コース 2 年生担任

東山 明子

海外留学中の大城先生の代理として 4 月から 1 年間の担任です。1 年生時の単位を落とした学生が 25 名中 8 名あり、勉学への気持ちを引き締める良いきっかけになったようです。全員がアルバイトをしており、子どもに関わるボランティア活動も大半が行っていて、卒業後もしっかり見据えながらも豊かな学生生活を送っている様子です。



現代教育学科
保健教育コース 2 年生担任
(2 年生保健教育コース代表)

岡本 啓子

2 年生になると歩く姿や顔の表情から自信が伝わり、堂々としています。皆さん、自分自身で自分の将来をしっかりと考えるようになり、毎日の学びに打ち込まれている様子を見せてくれてとても頼もしいです。サークル活動では中心となって動きだし、ボランティアでは、将来の夢に一步でも近づきたいという思いをもって試行錯誤して歩まれています。今の気持ちを大事に、目の前の課題を丁寧に一つずつ成し遂げる姿勢を持ち続けられるよう、保護者の方々と一緒に支えていきたいと思ひます。



現代教育学科
保健教育コース 2 年生担任

中城 進

何が欲しいのか。あるいは、何に成りたいのか。学生さんにはこのような問いに明確に答えられることを私は勤めております。保護者様にも求めることは、そのことをご子息に問いかけて欲しい。この問いは、「自身を知る」ための問いでもあるのです。この問いに回答できるようになると、自身の居るべき場所はどこにあるのかが分かります。また、自身の為すべき事柄も分かります。「ここだ!!」と認識した学生さんには心の奥底からの力が湧いて来るでしょう。

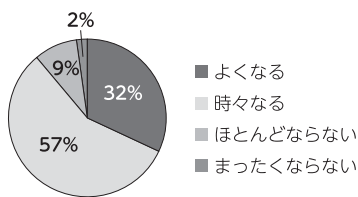


アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度も保護者アンケートを実施させていただきました。お忙しい中ご協力いただきました保護者の皆様には心より御礼申し上げます。今年度のアンケート結果の特徴と、皆様からお寄せいただいた質問で多かったものをまとめさせていただきます。

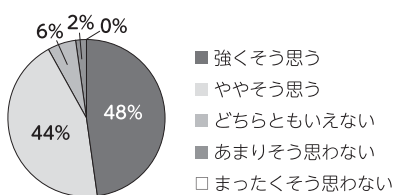
「畿央大学のことが家庭で話題になりますか」という設問に対して、「よく話題になる」「時々話題になる」と回答された方は、昨年を2ポイント上回り89%に上りました。

畿央大学について、家庭で話題になるか



続いて、「学生は畿央大学での生活に充実感を持っていると思いますか」という設問についても「強くそう思う」「ややそう思う」と回答された方の合計が92%と、非常に高い割合になりました。

畿央大学での生活に充実感を持っているか



〔寄せられたコメント(抜粋)〕

- ・通学が大変そうだが、授業を休むことなく早めに学校へ着くよう家を出ている。
- ・授業や課外活動、友達の話をも自分からよく話していて楽しそう。
- ・真面目に授業を受け、国家試験や就活にむけて頑張っている。

これらの結果は学生自身の自主性を尊重しながら、保護者の皆様と大学が連携をはかっていける基盤があることを示していると思われま。

一方、「畿央大学が充実すべき点は何かと思われませんか」という設問に対しての回答は、「キャリア支援」「専門性を身につけさせる教育」が最も多く、次いで「マナー、社会常識を重視した教育」「進路を考えさせるキャリア教育」「企業、病院、各種学校等との連携」という結果になりました。

また、設問「学生に関して、もっと知らせたい情報は何か」への回答第一位は「就職支援や就職状況」、設問「保護者向けに実施してほしいことは」への回答第一位は「就職に関する保護者向けの説明会」でした。これらの結果は昨年までと同様の傾向で、

保護者の皆様の関心は卒業後の進路や学生生活を通していかに社会人としての基礎力を身に付けることができるかといった点に強く向けられていることがわかります。就職活動を含めたキャリア形成支援の充実に向けてこれからも努力して参ります。

大学の印象について「新しい大学で知名度はまだ低い、活気がありこれから伸びていく大学」といった温かいお言葉も頂戴しました。本学は今年大学開学13年目、学園としては創立70周年の節目を迎えることができました。これからも建学の精神「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」に則り、豊かな教養を備え健康と教育の分野において高度な専門知識と技術を有し、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成して参ります。保護者の皆様におかれましては引き続き本学の教育活動に対しご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

Q 一番の心配は就職です。保護者にも就職状況の情報を提供してください。

A 年に2回(春秋)「保護者プレス」を発行し、ご自宅に送付させていただいております。就職のスケジュールや行事予定、就職実績、内定をした学生の声等、各種の情報を掲載しています。また、学園祭では、保護者の方を対象とした「企業就職説明会」「教員採用試験説明会」を行っています。ぜひご参加ください。進路や就職についてご相談の際はキャリアセンターまでご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

Q 一般企業へ就職を希望する学生へはどのような支援を頂けるのでしょうか。

A 3年生から2年間(就職が決まるまで)継続して支援を行っています。毎週の就職ガイダンス、適性診断、就職対策講座(筆記試験対策、マナー、エントリーシート、小論文対策等)、学内で実施の業界研究会、企業説明会、模擬面接指導等、これらに出席していただければ特に就職対策に悩む必要はありません。

Q 学習面だけでなく、社会に出てから必要なマナーや一般常識、また、年金や社会保険、転職やブラック企業の実態についても情報を提供してください。

A 3年生から年間を通して「就職ガイダンス」を実施しています。その中に「意外と知らない社会人の常識」というテーマでガイダンスを2回(90分×2)行っています。主な内容は、年金や社会保険、給与、生活設計、労働法について等、社会人になりすぐに必要な知識や情報です。また、いわゆるブラック企業については、ガイダンスや個別相

談の場での情報提供や相談を行っています。

Q 喫煙、アルコール、薬物、SNS、ギャンブル…といった学生生活を取り巻く危険について、考える機会があればと思います。

A 前期、後期それぞれの開始時に行われる学生生活オリエンテーションでは、学生生活を送る上でのルール・マナーの見直しと共に、喫煙習慣やアルコール依存への注意喚起を行っています。特に前期のオリエンテーションでは学生生活上のトラブル対策についてまとめた小冊子を全学生に配布しています。

Q ボランティア活動やアルバイト先の幹旋等も大学からしていただけると安心します。

A ボランティアセンターでは様々な団体や学校・病院等からの募集情報を提供しています。窓口での相談も受け付けていますので、学生の皆さんには気軽に利用いただければと思います。

また、アルバイトの紹介は求人情報提供サイト「畿央大学アルバイト紹介システム」で一定の基準をクリアした安心・安全な求人情報のみを紹介しています。アルバイト就労にあたっては学業を疎かにしたり、健康を害したりすることのないよう指導しておりますが、就労時間数が長く学生生活に支障をきたしているケースも見受けられますので、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

Q セクハラ・パワハラといったハラスメントを受けたときに相談できる窓口はありますか。

A 学園ではハラスメントの相談員を置いています。ハラスメントの被害を受けたと思われるときはためらわず相談してください。苦情・相談や訴えが寄せられた場合は速やかに対応します。なお、相談の対応に際して、情報を知り得た者は関係者のプライバシーの保護を最優先にし、その内容について守秘義務を負いますのでご安心ください。

Q 交通機関の遅延で授業に遅れた場合、出席は認められないのですか。

A 本来、授業は全回出席が原則ですが、体調不良や交通機関の遅延等やむを得ない事由によっての欠席は想定されます。そこで本学では定期試験の受験条件として3分の2(科目によっては5分の4)以上の出席を求めるとしています。

この規定があるため交通遅延で授業に遅れた場合は欠席扱いとし、「欠席連絡届」提出によって担当教員に理由を伝えるのみに留めていましたが、今年度後期から「遅延証明書」を提出した場合はその扱いを担当教員の裁量に委ねることとする予定です。

第14回 畿央祭 テーマ:頂(いただき)

2016年10月22日(土) 23日(日)
10:00 ~ 18:00

今年の畿央祭のテーマは「頂(いただき)」です。

このテーマは、「先輩方が今まで築き上げてきてくださった畿央祭をさらに極め、頂点つまり『頂』をつくっていきましょう」という思いで決定しました。さらに、「いただきます」という感謝の気持ちも込めています。

畿央祭は多くの方々の協力なしには成り立ちません。畿央祭に関わってくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、215名の実行委員が丸となって頑張ります。「頂(いただき)」というテーマを具現化するためにも、実行委員一人ひとりが持っている熱い思いを行動に移し、最高の畿央祭を作り上げていきます。ぜひ、お越しください!!

第14回畿央祭実行委員会



畿央祭参加会員に補助が出ます

畿央祭が10月22日(土)23日(日)の2日間にわたって開催されます。学生の実行委員会が4月からたちあがり、すでに着々と準備を進めています。その様子は、本学ホームページでご覧いただけます。

後援会では、畿央祭に参加された会員の皆さまに金券1,000円を補助しています。9月末ごろに詳しい畿央祭案内チラシ等とあわせて当日の引換券を送付します。畿央祭に参加され、日ごろとはまた違った学生の一面を発見されることも多いようです。皆さまのご参加をお待ちしております。

授業日カレンダー

①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。
⑮⑯週の最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。

注：補講はふだんの授業曜日・時間に限りなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。※印のついた日はキャンパスに入ることはできません。■は休講日

9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水	1	水
2	金	2	日	2	水	2	金	2	月	2	木	2	木
3	土	3	月	3	木	3	土	3	火	3	金	3	金
4	日	4	火	4	金	4	日	4	水	4	土	4	土
5	月	5	水	5	土	5	月	5	木	5	日	5	日
6	火	6	木	6	日	6	火	6	金	6	月	6	月
7	水	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火	7	火
8	木	8	土	8	火	8	木	8	日	8	水	8	水
9	金	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木	9	木
10	土	10	月	10	木	10	土	10	火	10	金	10	金
11	日	11	火	11	金	11	日	11	水	11	土	11	土
12	月	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日	12	日
13	火	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月	13	月
14	水	14	金	14	月	14	水	14	土	14	火	14	火
15	木	15	土	15	火	15	木	15	日	15	水	15	水
16	金	16	日	16	水	16	金	16	月	16	木	16	木
17	土	17	月	17	木	17	土	17	火	17	金	17	金
18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土	18	土
19	月	19	水	19	土	19	月	19	木	19	日	19	日
20	火	20	木	20	日	20	火	20	金	20	月	20	月
21	水	21	金	21	月	21	水	21	土	21	火	21	火
22	木	22	土	22	火	22	木	22	日	22	水	22	水
23	金	23	日	23	水	23	金	23	月	23	木	23	木
24	土	24	月	24	木	24	土	24	火	24	金	24	金
25	日	25	火	25	金	25	日	25	水	25	土	25	土
26	月	26	水	26	土	26	月	26	木	26	日	26	日
27	火	27	木	27	日	27	火	27	金	27	月	27	月
28	水	28	金	28	月	28	水	28	土	28	火	28	火
29	木	29	土	29	火	29	木	29	日	29	水	29	水
30	金	30	日	30	水	30	金	30	月	30	木	30	木
		31	月			31	土	31	火			31	金

冬木学園への ご支援のお願い

冬木学園では、教育・研究環境の整備及び基金の充実を目的とする募金へのご協力を広く皆様方をお願いをしております。

本学園の取り組みをご理解いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 税額控除の適用について

平成24年度より本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下により算出された額が所得税額から控除されます。

$$(\text{税額控除対象寄付金}^{※1} - 2,000\text{円}) \times 40\% \\ = \text{控除対象額}^{※2}$$

※1 総所得額の40%まで

※2 所得税額の25%まで

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部(担当：植村・竹本)にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1602

E-mail：soumu@kio.ac.jp

